

秋の褒章



平成28年度褒章受章者が発表となり、保護司を務めている辻文生さんが藍綬褒章を受章されました。

藍綬褒章
[更生保護功績]

辻 文生氏 (◎細浦)

昭和60年から保護司を務めており、罪を犯した人の社会復帰をはじめ、非行少年の更生を図るため保護観察や就労あっせんなどに尽力し、地域社会の福祉に寄与されています。

秋の叙勲



平成28年度秋の叙勲の受章者が発表となり、元宮城県本吉町消防団分団長の及川忠さんが瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝単光章
[消防功労]

及川 忠氏 (◎伊里前)

昭和40年4月に本吉町消防団に入団し、以来、平成16年3月までの約39年間にわたり、終始一貫して消防業務に精励されてきました。平成13年からは本吉町消防団分団長を務め、率先して団員を統率、消防活動と消防施設の整備強化等、住民福祉の向上と発展に尽力されました。

宮城県文化の日表彰

平成28年度文化の日表彰が発表となり、3氏が表彰されました。



地方自治功労

後藤 清喜氏 (◎原)

平成5年に志津川町議会議員に就任以来、現在までの7期23年の長きにわたり在職、この間、平成16年2月から志津川町議会副議長、平成17年11月から南三陸町議会議長として在任され、町政の発展と地方自治の振興に寄与されています。



産業功労

佐々木 憲雄氏 (◎津の宮)

平成9年に戸倉漁業共同組合の理事に就任、以来約19年間にわたり、産業事業に精励されています。平成12年から戸倉漁業共同組合長、平成19年から宮城県漁業協同組合志津川支所運営委員長を務めるなど積極的に活躍し、地域水産業の振興に寄与されています。



消防防災功労

高橋 正平氏 (◎平貝)

昭和48年に志津川町消防団に入団以来、約43年の長期にわたり消防団の中枢として消防業務に精励されています。平成21年4月から南三陸町消防団第7分団副分団長、平成26年4月から同分団分団長を務め、町の消防防災力の強化と地域社会の安全に寄与されています。

薬物乱用防止功労者表彰

気仙沼地区薬物乱用防止指導員副会長の宮川安正さんが薬物乱用防止功労者として、厚生労働大臣より感謝状を授与されました。薬物乱用防止指導委員は、宮城県知事により委嘱され、これら指導員の日常活動を通じて各地域社会の末端にまで覚せい剤等の薬物に関する知識の普及を目的として日々活動されています。



長年の功績をたたえ表彰

町功労者表彰

町条例に基づく功労者表彰式が11月3日(木)に南三陸プラザで行われ、7氏1団体が表彰されました。

自治功労



高橋 照男氏 (◎蒲の沢)

多年にわたり、行政区長として、効率的かつ円滑な行政の推進並びに健全な地域づくりに貢献され、地方自治の振興発展に寄与されました。



佐藤清太郎氏 (◎天王山)

多年にわたり、行政区長並びに行政連絡員として、効率的かつ円滑な行政の推進並びに健全な地域づくりに貢献され、地方自治の振興発展に寄与されました。

社会事業功労



高橋 壽子氏 (◎熊田)

多年にわたり、民生委員児童委員として、地域福祉の向上と民生の安定に貢献され、明るい地域社会づくりに寄与されています。



小山 光夫氏 (◎波伝谷)

多年にわたり、民生委員児童委員として、地域福祉の向上と民生の安定に貢献され、明るい地域社会づくりに寄与されています。

消防防災功労



白鳥 和男氏 (◎吉野沢)

平成25年から本町消防団副団長を務めるなど、多年にわたり、町の消防力の強化と安全安心な地域社会づくりに寄与されました。

統計功労



渡邊 熊義氏 (◎平磯)

多年にわたり、統計調査員として、統計調査の重要性と責務を深く認識し、常に正確な調査に努められ、安定した統計調査の推進に寄与されました。

交通安全功労



阿部 新氏 (◎天王山)

平成10年から旧志津川町交通指導隊長、平成17年10月からは本町交通指導隊長を務めるなど、多年にわたり、交通事故の防止と安全安心な地域社会づくりに寄与されました。

教育文化功労



大森創作太鼓旭ヶ浦
(代表 佐々木和也氏)

新たな芸能を創作し、本町の芸術文化の振興発展並びに青少年の健全育成に貢献されています。町内外の各種イベント等にも積極的に参画し、活力ある地域づくりに寄与されています。